

クラス2位でフィニッシュし、シリーズランキングトップをキープ

スーパー耐久シリーズ2008第5戦 「スーパー耐久岡山500kmレース」

2008年9月6日～7日

チーム名	: チームホンダアクセス<ゼッケン 76>
クラス	: スーパー耐久 ST-4クラス
マシン名	: Racing Modulo TYPE R
ドライバー(決勝周回数)	: 玉本秀幸(77周)、小林正吾(46周)、古橋譲
戦績	: 予選 クラス2位/決勝クラス2位 総合21位
獲得ポイント	: 15点/合計91点 シリーズ1位
天候	: 晴れ
出走台数	: 33台

2008年スーパー耐久シリーズ第5戦「スーパー耐久岡山500kmレース」が岡山国際サーキットで開催された。前戦の十勝で念願の優勝を果たし、ランキングトップに躍り出たTeam Honda Accessは、2連覇に向けてシリーズ終盤戦をさらに有利に進めるべく、万全の体制で岡山国際サーキット入りした。

9月6日「予選」

今回STクラス4にはシビック5台、インテグラ3台の計8台がエントリー。金曜日の練習走行でセッティングを進め、土曜日の予選に臨んだ。Aドライバーの玉本秀幸は昨年の予選タイムを0.8秒上回る1分45秒213をマークして2番手につける。

また、Bドライバーの小林正吾も昨年のタイムを大幅に上回る1分45秒966をマーク。合算タイム3分31秒179でクラス2番手、シビック勢トップのポジションを得た。

9月7日「決勝」

決勝はスタート直前に雨がパラついたがすぐにやみ、快晴のもと13時25分にスタート。スタートを受け持った玉本は、予選トップ、そしてシリーズを争う#51号車インテグラに食らいついて1周目を終えるが、その後ジリジリと離される展開となる。それでも3番手の#69号車シビックとの差は周回ごとに確実に広がっていく。

玉本は60周前後まで引っ張る作戦を立てていたが、路面温度などの諸条件により、30周過ぎからペースが落ちだし、予定より早めの39周でピットイン。ガス補給とフロントタイヤを交換して小林にスイッチした。

小林も順調に周回を重ね、クラス2番手を走行。1回目のピットが早かったこともあり、85周目に2度目のピットインでガス補給とフロントタイヤを交換して再度玉本がゴールを目指した。

この時点でトップを行く#51号車とは1周以上の差が開いてしまったことで、ポジションキープに専念。123周を走ったところでクラス2位でフィニッシュし、シリーズトップの座をキープした。

次戦は11月1日～2日にスポーツランドSUGOで開催される。Team Honda Accessの活躍にご期待ください。

お客様からのお問合せは 株式会社ホンダアクセス お客様相談室 0120-663521へお願いいたします。
受付時間:9時～12時 13時～17時 (土日・祝祭日を除く)